

吉田 和比古 教授 略歴および業績一覧

略 歴

昭和25年 2月	青森県三沢市生まれ
昭和43年 3月	秋田県立秋田工業高等学校建築科 卒業
昭和44年 4月	名古屋市立大学経済学部経済学科 入学
昭和48年 3月	同 卒業
昭和51年 4月	南山大学文学部独語独文学科 3年次編入学
昭和53年 3月	同 卒業
昭和53年 4月	南山大学大学院文学研究科独文学専攻修士課程 入学
昭和55年 3月	同 修了
昭和55年 4月	南山大学大学院文学研究科独文学専攻博士課程 進学
昭和58年 3月	同 単位取得満期退学

職 歴

昭和48年 4月	(株)大沢商会 入社 財務本部外国為替課 勤務
昭和51年 3月	(株)大沢商会 退社
昭和58年 4月	新潟大学教養部講師
昭和62年12月	新潟大学教養部助教授
平成 6年 4月	新潟大学法学部助教授
平成13年 4月	新潟大学法学部教授

研究業績一覧

【翻訳・著書】

「地理が好きになる新しい世界の学習 第4巻」

帝国書院152頁 監修 中村和郎、単著・翻訳 吉田和比古。1985年。

原著：Terra - Erdkunde:Gymnasium 8 Schuljahr für Baden-Würthtemberg
Hrsg.von. Karl-Günther und Lothar Rothar, Klett Verlag, Stuttgart 1983. である。

【辞書・共同著書】

「アルファ独和辞典」

編集責任者 在間進 共同執筆につき本人分担部分抽出不可能。1989年。

「新アルファ独和辞典」

編集責任者 在間進 共同執筆につき本人分担部分抽出不可能。1998年。

「アクセス独和辞典」

編集責任者 在間進 共同執筆につき本人分担部分抽出不可能。1999年。

「新アクセス独和辞典」

編集責任者 在間進 共同執筆につき本人分担部分抽出不可能。2004年。

「アクセス独和辞典・改定第3版」

編集責任者 在間進 共同執筆につき本人分担部分抽出不可能。2010年。

【論文】

「動詞の語彙的素性としてのPASSIVFÄHIGKEITと受動文の主語化過程」
単著。南山大学大学院研究紀要「南山ゲルマニスティック」第3号 1～22頁 1981年。

「lassen + sich + Infinitiv の統語構造をもつ意味の多様性について」
単著。南山大学大学院研究紀要「南山ゲルマニスティック」第4号 61～78頁 1982年。

「『場所』を表す前置詞句の〈主格-、対格化〉と〈主題〉の転移性について」

単著。日本独文学会北陸支部機関誌『RUNEN』第18号 1～26頁 1984年。

「ドイツ語の名詞の格の諸機能についてG.HelbigのHabilitationsschriftにおける名詞の格の研究をめぐって」

単著。南山大学大学院研究紀要「南山ゲルマニスティック」5号 25～46頁 1983年。

「〈sein + zu + 不定詞〉の意味論的考察」

単著。日本独文学会「ドイツ文学」第74号 64～74頁 1986年。

「“sein + zu + 不定詞”の下位区分について」

単著。日本独文学会北陸支部機関誌『RUNEN』第20号 1～25頁 1986年。

「ハイパーテキストとしての〈言語と映像〉」

単著。新潟大学教養部研究紀要 第25集 65～77頁 1993年。

「「一般教育」改善のための新潟大学教養部における調査研究報告書／教養教育におけるアンケート調査報告～ドイツ語〔未修外国語〕のデータを中心として～」

共著。文部省科研費による『一般教育方法等改善4大学共同研究プロジェクト／新潟大学教養部研究チーム』長谷川彰、高橋敏雄、竹内照男、吉田和比古（ドイツ語〔未修外国語〕担当）。

「ドイツ語教育の反省点と今後の展望～新潟大学における一般教育改善の試み～」

単著。1994年。日本独文学会教育部会ドイツ語教育部会会報 第47号 51～56頁 1995年。

「旧教養部カリキュラムに対する学生の意識調査研究」

共著。共同執筆者：長谷川彰〔理学部〕竹内照雄〔理学部〕新潟大学教育研究開発センター『大学教育研究年報』第1号 131～142頁 1995年。

「都市の記号論～ベルリン・二項対立の首都再生～」

単著。新潟大学人文学部・法学部・経済学部『言語文化研究』第2号 1～14頁 1996年。

「ドイツ語教科教育法—「言語類型論」にもとづいた「格アレルギー」解消の試み—」

単著。新潟大学教育開発センター『大学教育研究年報』第3号 59～68 1997年。

「オムニバス形式での総合講座「現代都市論」の教育効果をあげる工夫」

共著。共同執筆者：高津武彰（経済学部）池上岳彦（経済学部）永井雅人（経済学部）栗原隆（人文学部）大学教育開発センター『大学教育研究年報』第3号 133～144頁 1997年。

「メディア、あるいはファシズム—(1)レニ・リーフェンシュタール論—」

単著。新潟大学法学会『法政理論』第30巻2号 1～27頁 1997年。

「物語の構造〔1〕～「昔話」から「現代メディア」へ～」

単著。新潟大学人文学部・法学部・経済学部『新潟大学言語文化研究』第3号 1～15頁 1997年。

「物語の構造〔2〕～〈昔話〉から〈現代メディア〉へ～」

単著。新潟大学人文学部・法学部・経済学部『新潟大学言語文化研究』第5号 131～150頁 1999年。

「メディア、あるいはファシズム―(3)～ドキュメンタリスト～亀井文夫と戦意高揚映画～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』第33巻1号 1～33頁 2000年。

「総合科目『現代都市論』のためのビデオ・アーカイブ～映像メディア資料活用のための教育研究リファレンス～」

共著。共同執筆者：高津武彰（経済学部）新潟大学教育開発センター『大学教育研究年報』6号 59～68頁 2000年。

「物語の構造〔3〕～映像言語教育としての『メディア・リテラシー』～」

単著。新潟大学人文学部・法学部・経済学部新潟大学『言語文化研究』第6号 85～100頁 2000年。

「総合科目〈現代都市論〉のためのビデオ・アーカイブ～映像メディア資料活用のための教育研究リファレンス～」

共著。共同執筆者：高津武彰（経済学部）新潟大学教育開発センター『大学教育研究年報』第6号 59～68頁 2000年。

「フォトジャーナリズムの戦争報道の歴史とデジタル・メディア時代における新たな課題」

単著。新潟大学法学会『法政理論』第33巻2号 50～105頁 2000年。

「ドイツ社会文化論としてのビデオ・アーカイブズ（1）～ドイツ戦後史の映像レファレンス～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』33巻2号 66～150頁 2001年。

「ドイツ社会文化論としてのビデオ・アーカイブズ（2）～過去をまなざしつつ、統一後の新たな再生へ向かって～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』34巻1・2合併号 22～61頁 2001年。

「メディア、あるいはファシズム～現代の医療技術、内なる優生思想、そして生命の世紀へ～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』34巻4号11～88頁。

「都市の記号論～ベルリン：日本のマスメディアのまなざし～」
 単著。新潟大学人文学部・法学部・経済学部『言語文化研究』第8号
 167～180頁 2002年。

「ドイツ社会文化論としてのビデオ・アーカイブズ（3）過去の映像は、
 未来を予見する～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』35巻4号 145～193頁 2003年。

「ドイツ社会文化論としてのビデオ・アーカイブズ～（4）1998年：ICE
 は凍りついた～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』36巻2号 1～46頁 2003年。

「ドイツ社会文化論としてのビデオ・アーカイブズ（5）1999年：「ベルリ
 ンの壁」崩壊から10年～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』第36巻3・4号 250～316頁 2004年。

「現代日本の映像メディア・コンテンツの動向～メディア・ワークショップ
 “じゅりすと”の視点から～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』第40巻1号 1～37頁 2007年。

「記憶装置としての映像にみる現代日本の人間関係～メディア・ワーク
 ショップ“じゅりすと”第2回研究報告～」

単著。新潟大学法学会『法政理論』第41巻3・4号 1～70頁 2009年。

その他の主な学外活動

2008年2月より

新潟テレビ21情報番組「まるどりっ！」レギュラーコメンテーター。

2009年4月より

新潟薬科大学非常勤講師。

2012年4月より

新潟テレビ21番組審議会委員長。

2013年10月より

新潟医療技術専門学校非常勤講師。

2015年4月より

「民放連」テレビ番組審査委員。